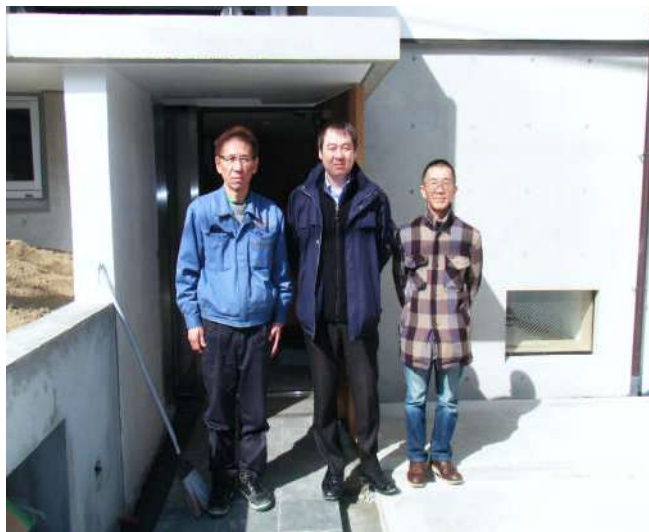


服部商店のブラックウォールナット材を使って頂きました。

兵庫県神戸市の庄司建築士様の現場で服部商店の扱っているブラックウォールナットの製材品を使って頂きました。主な用途は玄関の上がり框・枠・フローリングです。フローリングは直輸入の製材品から製造しましたが、上がり框・枠は原木から製材したものの木取りをして先方の加工先に送り仕上げをして頂きました。この現場は神戸市の閑静な住宅街に在り、お施主様『不動産業と工務店業務をしている、いなほ不動産の本（もと）様』はこだわりの有る住まい作りを庄司建築士様に依頼し、見事に施工をした現場だとお見受けしました。

右の写真は玄関の上がり框です。ブラックウォールナットの框とヒノキの無垢のフローリングが凄くマッチしているのが、解かると思います。ヒノキ材は我々材木屋の立場から見れば和風に思えますが、この現場は見事に和と洋がマッチしたと思います。真ん中の左の写真は棚です。この棚もウォールナット材で和室に有ります。畳と凄くマッチしていました。



真ん中の右の写真はフローリングです。このフローリングは現地挽きから製造しました。内装の額縁・枠は現地挽き製材品からの製造は難しいですが、フローリングは現地挽きの方が価格的にもリーズナブルで、ことフローリングを作る事には向いていると思います。最後にこの現場で材木屋として感謝をさせていただきたいと思いました。この現場は今余り使われなくなったヒノキの無垢を『構造材の化粧柱に集成材ではなく無垢の無節の柱も使っていました。日本の森林に立っている言うなれば1本のヒノキ原木の全てを』使っていただいたことなのです。又我々広葉樹業界の材もお使い頂いた事で広

葉樹の良さもお客様に伝わったと思います。こんな住い作りこそ材木業者が提案しなくてはいけないと私は思います。左から小生・御施主の本様・庄司建築士様

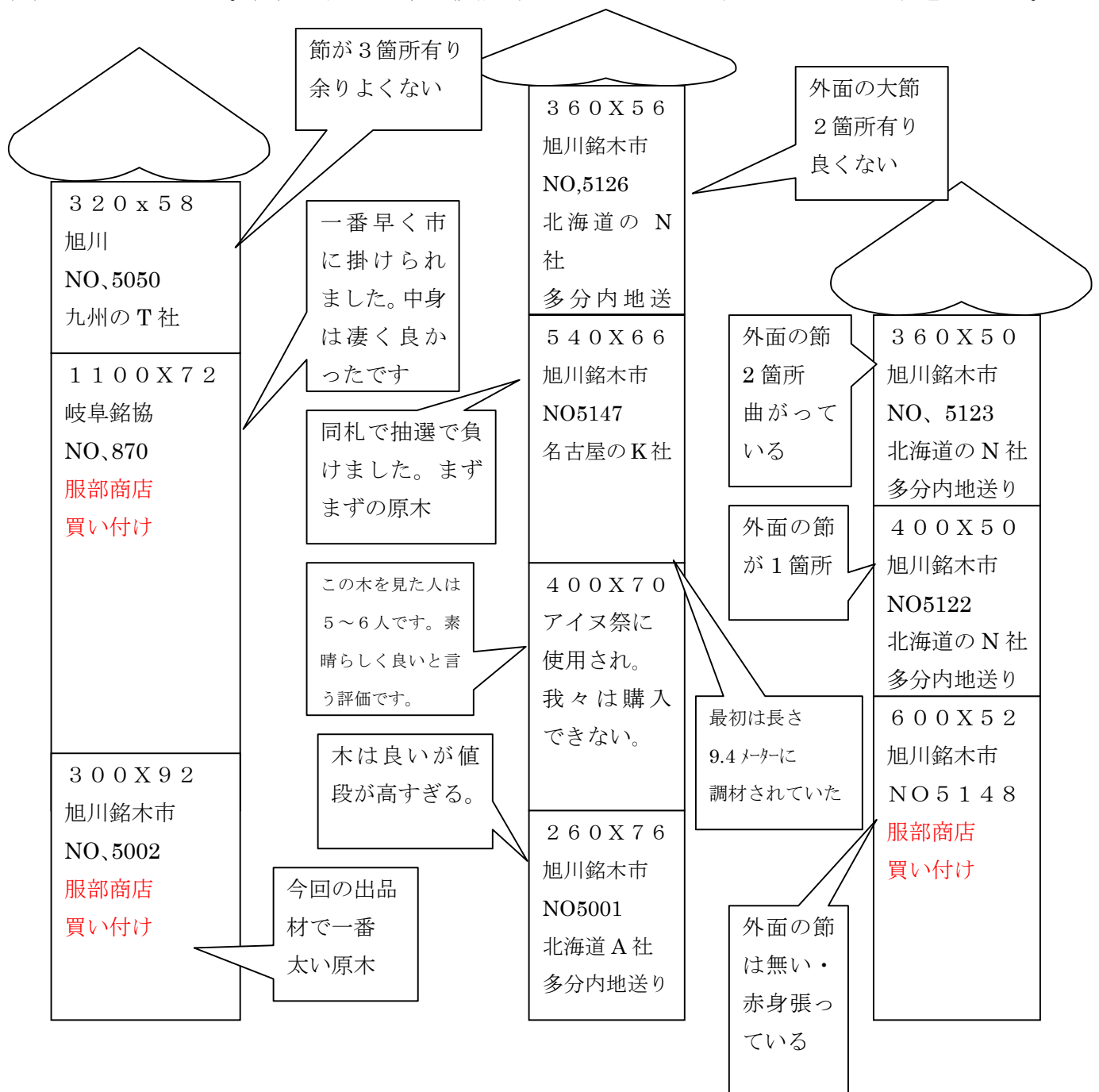
建築・設計 庄司建築士 〒 662-0856 兵庫県西宮市城ヶ掘町7-7 0798-37-3500

御施主様 (株)いなほ不動産 本(もと)社長 〒 661-0001 兵庫県尼崎市塚口本町4-7-8 06-6429-9447

日高のカツラの物語

カツラと言えば北海道の日高産が最高の産地で有る事は広葉樹を扱っている業者なら常識的に知っている話です。昨シーズン（一昨年から昨年初め）に日高地方で伐採された国有林広葉樹は全量で約 1000 立方(カツラ材は約 500 立方)だと記憶しています。しかし今シーズン（昨年の暮れから今年の初め）の日高地方の国有林の広葉樹伐採量は全量で約 16 立方です。計算すると $(16 \div 1000 =)$ 1.6%です。この数字はもうカツラの材料をお客様に提供できないと言う話ですが、弊社の在庫は価格は別にして1,000万以上『厚み185ミリもしくは215ミリ巾450ミリの厚盤』有りますので少しは安心して頂きたいと思います。今シーズン伐採された日高産カツラ原木は3本です。産地は現在の新日高市三石町『競走馬のオグリキャップの生まれた稲葉牧場の奥の沢』です。この3本が調材（木の曲がり・欠点を見て木に合わせて長さを切る作業）されて10本になりました。カツラと言う木の特徴はナラ・タモと違い、原木の末へ行けば行くほど芯節と側の節の影響を受け凄く中身の悪い商品しか出来ないのです。

元玉（元木とも言う）から二番玉（二番木とも言う）までが中身も良く、良い商品をお客様にお届け出来るのです。現在のカツラ原木の相場は昨年比 50%アップしています。しかし同じ 50%アップの原木を買うにしても中身の良い原木を買い、良い商品をお届けするのは材木屋として当たり前的事だと思っているのでその原木の価値以上の入札札は入れていません。他社に取られた材で価格の差は小さいのは 20%大きいのは 40%違いました。



17.2メートルの立ち木

15.6メートルの立ち木

13.6メートルの立ち木



NO5002 300X94 服部商店買い付け材



NO870 1100X72 服部商店買い付け材



NO5148 600X52 服部商店買い付け材



NO5122 400X50 N社買い付け



NO 5123 360X50 N社買い付け



NO5001 260X76 N社買い付け

私は日高産カツラ原木10本からアイヌ祭に使われる1本を除いてすべての買い付けに参加しました。多分全部見ているのは私と北海道新日高市に有る賀集産業の曾我常務だけだと思います。この3本の立ち木は本来伐採出来ない保護林に有りましたが、アイヌ民族の祭りにどうしても良い原木が必要との事で、伐採が許可されたと聞いています。来年以降これだけの日高産の原木を目にする事はまず無いと思います。

私がこの3本の買い付けに成功したのは昨年11月に曾我常務から三石のカツラを伐採する事になりそうと電話で最初に聞きました。其れまでは全く日高沿線の今年伐採量はゼロになるのではと心配していました。月が明けて12月の中ごろ伐採された3本が富川の営林署に出ているのでそこから携帯で『11メートルの原木は内地の市(後に岐阜銘木協同組合)に出品され、9.4メートルの原木は元から4メートルをアイヌ民族のお祭りに使用される為に市場には出ない、後の残りは旭川の銘木市に出品されます。そして一番天木は11メートルの原木か3メートル直径94センチの原木ではないかと』携帯電話で内容を聞きました。

今回の最高の産地のカツラ原木を良材だけ3本入手するのにこれだけの情報があるのです。皆様が小生が北海道の市に行って簡単に落札しているのではないと言う事を是非耳に入れて欲しいと言う思いから日高のカツラの物語を書かして頂きました。

ツキ板クラスと製材クラスの原木

表題を見て一体何を言っているのだろうと思う方が多数だと思います。厳格に基準としてツキ板クラス・製材クラスと分かれているのでは有りません。しかし現実にはツキ板業者が高値で買い付ける原木と他の業者が買い付ける原木と分かれるのです。小生は最初からツキ板クラスの原木しか下見をしません。理由は有ります。その理由とはツキ板クラスの原木の方が目は細かく、しかも目通りも良く、色も良いのです。それは見た目だけではなく狂いの少ない造作材(枠・額縁・建具・カウンター)にも繋がります。本来求められる無垢材は多少の狂いは設計及び施工でカバーできますが、しかし粗悪な材で有れば見た目も汚いし経年変化で狂いが生じると思います。無垢を使うと反ると言う事を数えられない位建築士さんからお聞きしました。服部新聞にも何度も書きましたが、使い方と良い材料で最小の狂いにする事は可能だと信じています。



旭川銘木市・NO1753・600X50・服部商店買い付け

旭川銘木市・NO1736・520X52・ツキ板業者買い付け

右の原木の多少写真写りが違うのは木口に水が掛けられているだけです。2本とも同じロットの原木なのです。つまり同じ産地だと言う事です。単価の差は約25%右の方が高いですが、ツキ板業者の落札札から見るとそんなに高くないと思います。

ところで大阪のツキ板業者のシンエイ商会の社長様の話『服部君はツキ板クラスの原木しか見ないのは正解ではないかと思う。製材クラスはたかが製材クラスで有り色合いから目合い全て違うから、ツキ板クラスで製材した製材品は今の少量多品種でしかも良質材が必要なお客様の需要に対応できるし、又ロコミでお客様が広がるよね』と話をして頂き、今までどおりの原木の見方でこれからもやっつこうと思っています。

現在の広葉樹資源だけでなく全ての木材資源が投機対象になりつつ有る事も服部新聞の裏話の大事な情報として最後に書かして頂きます。

東北関東大震災のお悔やみ

3月11日午後、三陸海岸で発生した、超巨大地震と大津波の災害に遭われた方にお見舞いと、亡くなられた方に哀悼の意をささげたいと思います。今後日常生活に戻るには日本人が経験したことが無い日数・費用が掛かると思います。又今後心のケアが必要な方たちも大勢お見えになると思います。頑張って頂けるよう心から祈ります。

関西も16年前に阪神淡路大震災に遭遇し日本全国の方々から支援を頂きました。

阪神大震災の約180倍以上の被害が想定され、災害全体の被害を確定するにも多くの時間が必要だと思われます。復興の道のりも日本人が経験した事の無い長い年月が掛かるかと思いますが少しでも早く普通の生活に戻れますようお祈り申し上げます。

小生は大阪にいて今回の大災害に遭遇しませんでした。多くの取引先様、そしてその関係者の方々が被災された事を思うと、胸が痛みます。そういった方々に何かの協力ができないかと考えています。

この未曾有の災害は我々日本人が持っている公助の心を発揮する時が来たと思います。特に関西に住んでいる我々は阪神大震災の時頂いた支援を返す時だと思えます。

どう言う行動を取ればお返し出来ると言う答えを今現在持ち合わせていませんが、できれば被災地に赴き災害に遭われた方達とご一緒に復興活動をしたいと思っています。

最後にもう一度亡くなられた方々に哀悼の意をささげます。

合掌
(株) 服部商店
服部雅章